

みんなのひろば



▲ヒノキ材と竹材で箸や箸置きを作った「クロスケの家でMy箸をつくらう!」。やすりやかんなで木を削りながら完成させ、早速自分で作ったMy箸を使い、みんなで豚汁を食べました。
5月31日(土)／旧和田家住宅(クロスケの家)
(撮影:市民カメラマン・三平資郎)



▲小学校の1年生から6年生まで、総勢505人が参加した『第35回ちびっこフェスティバル「わんぱく相撲大会」』。集まったちびっこ力士たちは、稽古の成果を発揮して、熱戦を繰り広げました。
6月8日(日)／市民体育館
(撮影:市民カメラマン・滝島利男)



▲所沢市歯科医師会により毎年開催される『第52回歯と口の健康週間行事』。歯科検診や歯磨き指導、フッ化物塗布などのほか、子ども向けの遊びコーナーや医師との相談会も設けられ、今年もたくさんの方が参加しました。
6月8日(日)／保健センター
(撮影:市民カメラマン・津田資雄)



▲手芸や折り紙体験、親子クッキングなどさまざまな企画で盛り上がった『世代間交流フェスティバル』。ホールではダンスや演奏団体の発表もあり、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。
6月15日(日)／新所沢まちづくりセンター
(撮影:市民カメラマン・浅見司郎)

おうちで食べよう! 所沢の学校給食

36 サンライズピラフ

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

- ◆今回の献立
- サンライズピラフ★
- 牛乳
- 豚肉の彩りマリネ
- 黄金色の麦風スープ
- ポテトソテー
- みかん



★サンライズピラフ

- 材料(4人分)
- 米……………2合
 - 枝豆……………25さや
 - にんじん……………中1/3
 - コンソメ……………小さじ1
 - 白ワイン……………小さじ1弱
 - こしょう……………少々
 - 塩……………小さじ1弱

- 作り方
- ①米は洗っておく。枝豆は、ゆでてさやから出しておく。にんじんは、すりおろしておく。
 - ②鍋に米・コンソメ・白ワイン・こしょう・塩を入れ、少し固めに炊く水加減にし、すりおろしたにんじんを入れよく混ぜて、炊く。
 - ③炊き上がったごはんに、枝豆を入れさっくり混ぜて出来上がり。
- ◎ちりめんじゃこに酒をふって、軽くいったものを混ぜてもおいしいです。

ここがポイント サンライズピラフ

所沢市には、にんじんや枝豆など野菜がとれる畑がたくさんあります。生き生きと空にむかってまっすぐ育つ野菜たち、そして、太陽の光をいっぱい吸収しようと広がる葉。そんな野菜たちが、朝日をたくさんあびてキラキラしている様子を表現した料理で、味も抜群です!

問い合わせ 保健給食課 ☎2998-9249 ☎2998-9167

はっぴっ 野老っ子



「久米の八坂神社、上新井の六所神社、宮本町の所澤神明社…。」市内に48社もの神社があることを知っていますか。今回は、その全ての神社をスケッチし、祭神や由緒などと共に1枚のDVD「絵筆で迎える所沢の神社」にまとめ、市内の小学校や図書館などに寄贈された天野保治さんを紹介いたします。
「幼少のころから絵は好きでしたが、中学・高校と野球に夢中でした。」と話す天野さんは、愛知県田原市で建設関係の会社を営む家に生まれ、自身も高校・大学と建築を専攻。「設計士を志望していたので、パースなどを描くために大学在学中に1年間『自在画』を学びました。」と大学から本格的に絵を描くように。建設会社に就職後も「単身赴任先では描いた風景画を施主にプレゼントしたり、仕事関係の仲間と絵の会を作ったりしていました。」と絵を描き続けます。

退職後、北秋津小学校創立30周年を記念して地域の有志10人で発行した『北秋津ものがたり』で絵を担当したこと、仕事で奈良県の薬師寺再建や東京都の池上本門寺五重塔解体・復元などの社寺建築に携わっていたこと、孫の受験のお参りに小手指元町の北野天神社などを回っていたことが相まって、北秋津の日月神社から約3年をかけて

夫婦一緒に 北秋津 関裕枝

体に良いと聞けば、食べ物でも運動でも試してみよう。食事は、ハランズを考案、運動は多いとき週2、3回、1時間程度のランニングをしています。この数年の私は、完全に健康オタクだ。主人にもカロリー制限や運動メニューを課している。彼のメタボ腹はギリギリの線で回避されている。

私は、あと3年で母の亡くなった歳になる。父の定年後、両親の夫婦水入らずの時間は長くなかった。母が見るこのときなかつた景色をじっくり味わいたい。主人には寂しい思いをさせたくない。夫婦で長生きというのが私の願いなのだ。いや、ここのだけの話、主人が健康でないと私が自由に遊べないというところもあるが。

絵筆で迎える所沢の神社

天野 保治さん(北秋津在住)

48社を描き上げました。「最初はスケッチだけが目的でしたが、知人や仲間たちの勧めを受けて、子どもたちのために形に残すことにしました。さまざまな方の助言やご協力でなんとか完成しました。」と顔をほころばせます。
吾妻地区の青少年を守る会前会長であり、北秋津小5年生の絵の講師を務めるなど地域への貢献度も高い天野さんは、地域の方たちが気軽に利用できるようと、自宅に「さくら画廊」を構えます。目を輝かせながら「設計も自分でしました。」と教えてくれたその画廊では、毎年、夫婦で1年間描き溜めた作品の展覧会『二人展』を開催。
「妻は、絵が全くだったんですけど、今では毎日作品を描きあげていますよ。」と笑います。



最後に、次はお寺ですかと尋ねると「まだ迷っています。でも公言することで描く決心がつくので、ぜひ載せてください。」と笑顔で話してくれました。
第2弾の完成を期待しています。 ▲初詣客でにぎわう所澤神明社

私の願い 東狭山ヶ丘 関口 幸代

私のおばあちゃん、今年で90歳になる。最近、ちよびり耳が遠い。私が言っていることはあまり聞こえないようだけど、頑張って聞く努力を人一倍しているみたい。腰が痛かったり、だんだんつらいところもあつたりするみたいだけど、介護認定は受けず、できるだけ、頑張りたいと、毎日話している。おばあちゃんが1日でも長く、在宅で健康に過ごして欲しいと、毎日私は願っています。

未来への願い 上安松 金澤 房子

私たちの願いはたひつと「平和」。それにつぎるのではないでしょう。自分一人が幸せであつても、災害や戦争、環境破壊の前には、あまりにも人間は無力。今感じている幸せも、砂上の楼閣にすぎません。私たち一人一人の力では、次世代の子供たちに「安心」「安全」の未来を約束することは難しいけれど、相手を思いやる心、物を大切にすることを大切にする心、命を大切にすることなど、生活のなかで教えていくことが、遠い道ではあつても平和をつなげる一歩だと思います。未来の平和の力を握る子どもたちの心に、平和の種を植えていく。その作業が、私たち大人の責任だと思っています。そして政治、行政は、それを助成するものであつて欲しい。さつ願つてやみません。

地域の絆 やっぱり自治会・町内会でしょ! ③

ご近所同士で力を合わせ、さまざまな課題解決や地域の絆づくりを行っている自治会・町内会をご紹介します。

上新井すみれ町会

～ふるさとを作るご近所づきあい～

上新井すみれ町会は、上新井4丁目と5丁目の一部の950世帯で組織され、年間を通してさまざまな行事を行っています。
上新井すみれ会館にはAEDが設置されており、いざというときに操作ができるよう、定期的に普通救命講習会を実施し、防災意識を高めています。その他5月下旬の「歩け歩け大会」や上新井北原公園で開催する「すみれ町会納涼祭」は、多くの人が参加する行事です。

福良幹夫会長は、町会の会員が集まる機会を多くし、日ごろのあいさつや行事を通じたコミュニケーションで人と人との触れ合いをつくりたいとの思いから、たくさんの行事を町会の会員で企画し、みんなで手伝い、運営しています。そのため、町会として事業を進める際の団結力が自慢です。集団資源回収は町会会員が積極的に取り組んでおり、回収で得た報償金で、会館横の用地取得や行事で使う軽自動車の購入など、自治会活動の発展に役立てています。

会長は「この辺りは、昔は畑が広がる地域でしたので、現在の住民の多くは移り住んできた人たちです。私たち町会では、住民のみなさんに『自分たちのまちだ。いいところに住んだな。』と思ってもらえるように、そして、子どもたちに『自分が育ったまちだ』と郷土愛を持ってもらえるように活動しています。」と語ってくださいました。これからはふるさとを育む自治会活動に力を入れていきます。



▲すみれ町会納涼祭の様子

☎コミュニティ推進課 ☎2998-9083 ☎2998-9491